

予算審査特別委員会会議録

- 1 開会日時 令和3年6月24日（木）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和3年6月24日（木）午前10時41分
- 3 会議場所 議会協議会室
- 4 出席委員

1 番 牛尾 直人君	2 番 鼻岡 美保君	3 番 安藤 利博君
4 番 永徳 省二君	5 番 大森 進次君	6 番 佐藤 武君
7 番 佐々木雄司君	8 番 光成 良充君	9 番 保田 守君
10 番 大口 浩志君	11 番 治徳 義明君	12 番 原田 素代君
13 番 金谷 文則君	14 番 松田 勲君	15 番 福木 京子君
16 番 佐藤 武文君	17 番 下山 哲司君	
- 5 欠席委員
なし
- 6 説明のために出席した者

市 長 友實 武則君	副 市 長 前田 正之君
教 育 長 土井原康文君	総合政策部長 山本 幸治君
総 務 部 長 入矢五和夫君	財 務 部 長 作本 直美君
市民生活部長 杉原 洋二君	保健福祉部長 谷名 菜穂子君
産業振興部長 是松 誠君	建設事業部長 高橋 渉君
産業振興部政策監 兼建設事業部政策監 中山 教浩君	建設事業部参与 小坂 憲広君
教 育 次 長 有馬 唯常君	教育総務課長 金島 正樹君
- 7 事務局職員出席者

議会事務局長 元宗 昭二君	副 参 事 逢坂紀美子君
---------------	--------------
- 8 審査又は調査事件について
 - 1) 議第33号 令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（大森進次君） ただいまから予算審査特別委員会を開会いたします。

初めに、友實市長より御挨拶をお願いいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 委員の皆さん、おはようございます。

今日は、予算審査特別委員会を開催いただきましてありがとうございます。

6月定例市議会に上程されております予算案件の審査

（59字削除）をお願いするようになるかと思えます。慎重なる御審査をお願いしたいと思えます。よろしくをお願いいたします。

○委員長（大森進次君） ありがとうございます。

それでは、これから委員会の審査に入ります。

当委員会に付託された案件は、議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）であります。付託案件につきましては、各分科会に分担し、付託事件審査または調査が行われ、各分科会委員長報告が提出されておりますので、委員長報告を求めます。

それでは、議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）について委員長報告を求めます。

総務分科会委員長報告を行います。

正副委員長は移動してください。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 友實市長。

○市長（友實武則君） すみません。先ほど挨拶の中で私は間違ったことを言ってしまったので、訂正させていただければと思います。

3件の補正予算については、今回の審査事項ではありませんので、そこは削除をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○委員長（大森進次君） 分かりました。

許可します。

○市長（友實武則君） ありがとうございます。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大森進次君） それでは、委員長報告を求めます。

佐藤委員長。

○委員（佐藤 武君） それでは、予算審査特別委員会総務分科会委員長報告を行います。

予算審査特別委員会総務分科会に分担されました予算案1件について、総務分科会を開催

し、慎重に審査いたしました。その経過の主なものについて御報告いたします。

議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）のうち、総務常任委員会所管部分について。

委員より、内部情報システム運営管理事業について、職員用パソコンは何台でどこに設置されるのかとの質疑に、執行部は、50台を予定しており、設置場所は支所、小学校、中学校、保育園、公民館、給食センターなどを考えているとの答弁。

委員より、特別なソフトが入っているのかとの質疑に、執行部は、ワード、エクセル、パワーポイントのみを予定しているとの答弁。

委員より、通常のパソコンの更新と考えたらよいかとの質疑に、執行部は、職員のパソコンを更新するものであるとの答弁。

委員より、防犯対策費について、LED化で全て白色にすると霧が深い地区だと境が分からなくなる、オレンジ色に変えることはできるのかとの質疑に、執行部は、原則として白色で考えている、現場の見やすさについては区長、町内会長、業者と相談し、金額等にもよるが、必要に応じて色の調整をしたいと考えているとの答弁。

委員より、特に危ない交差点等は地元と調整しながら進めてほしいがどうかとの質疑に、執行部は、交差点あるいは横断歩道等を強調したいということであれば、LEDの色のほか、別の対策も併せて検討したいとの答弁。

委員より、徴税費の一般管理経費について、航空写真は赤磐市全部が入るような写真が撮れるのかとの質疑に、執行部は、赤磐市全域の航空写真を撮るように考えているとの答弁。

委員より、航空写真はこういったことに使われるのかとの質疑に、執行部は、実際に入って見ることができない土地や、人の目線では確認できない建物等の現況確認資料として、適正な固定資産台帳の作成に活用するとの答弁。

委員より、航空写真は固定資産台帳以外に利用することが可能かとの質疑に、執行部は、航空写真データは市の権限で活用ができる、ただし固定資産税のためにつくったデータをそのまま他の分野で使用ということにはならない、道路管理台帳、水道の管路台帳、下水道の管路台帳等、他の分野で使用するためには、データ加工等の予算も必要となってくる、順次新しいものへと切り替えていけるように努力していくとの答弁。

委員より、航空写真は何年に1回更新しているのかとの質疑に、執行部は、6年置きに更新しているとの答弁。

委員より、登記していない家の場合、税の徴収はどうなるのかとの質疑に、執行部は、登記されなくても賦課はする、現地確認や航空写真で確認して、1月1日時点で建っている建物であれば賦課するとの答弁。

委員より、航空写真が6年に1回だと、去年なくて今年建てられた場合、6年後まで把握できないのではないかとの質疑に、執行部は、航空写真だけではなく、定期的なパトロールをし

て毎年確認をしているとの答弁。

委員より、移住・定住促進事業について、空き家家財道具等撤去補助金の対象者は誰かとの質疑に、執行部は、赤磐市の空き家情報バンクに登録している所有者が対象であるとの答弁。

委員より、片づけをした地元有志が補助金を受けられるのかとの質疑に、執行部は、廃棄物等の処理の関係もあり、一般廃棄物処理業の許可を持っていることを要件としているとの答弁。

委員より、仏壇の撤去やそれに伴う費用等、柔軟に運用していけるのかとの質疑に、執行部は、仏壇も今回の撤去費用の対象としているとの答弁。

委員より、家財道具撤去対策予算について、政策推進課の対応となっているが、空き家対策予算は建設課にもあると思う、たらい回しにならないような運用を心がけてほしいがどうかとの質疑に、執行部は、空き家の解体除去等については建設課、利活用については政策推進課で運用し、内部の連携を図っているとの答弁。

委員より、空き家情報バンクは現在何軒の登録があるか、また桜が丘にも相当空き家があると思うが、どのくらいあるか把握しているかとの質疑に、執行部は、空き家情報バンクへの登録は現在15軒程度である、平成29年の空家等実態調査業務報告書では、桜が丘西が150軒程度で、空き家率11.6%、桜が丘東が90軒程度で、空き家率9.31%であるとの答弁。

委員より、空き家情報バンクについての広報の方法はとの質疑に、執行部は、固定資産税納税通知書に制度のチラシを同封している、また区長、町内会長等にも随時制度の案内をしているとの答弁。

委員より、シティプロモーション事業について、具体的にいつ頃こういったラジオ番組をするのかとの質疑に、執行部は、月2回、朝8時半から5分程度の生放送で、新型コロナウイルス感染症対策、支援事業、ワクチン接種等についての情報を伝える番組を予定しているとの答弁。

委員より、FM管理事業について、具体的にいつ頃、こういったラジオ特番をするのかとの質疑に、執行部は、赤磐中継局開局2周年の記念事業として、令和4年3月上旬に防災、交通安全、防犯、消費生活、コロナ等の呼びかけをする番組を考えているとの答弁。

ほかに質疑はなく、審査を終了しました。

以上をもちまして予算審査特別委員会総務分科会委員長報告を終わります。

○委員長（大森進次君） 総務分科会委員長報告が終わりました。

これから総務分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） ありがとうございます。

2ページ目に、御報告の中で何件かお尋ねしたいんですが、空き家バンクの片づけですか、要するに廃棄物の撤去をされたということですけど、ここに出てるのは1件分について予算が上がって議論されているのか、これは何件分を指しているのか、確認をさせてください。

それと、中段のほうで、質問者が桜が丘の空き家を聞いてらっしゃるので、桜が丘の東西の空き家の数字が出てますが、当然これは市内全域についてデータをお持ちで、把握をされているのかどうか、把握されてるのであれば、桜が丘以外で今どのぐらいの軒数とパーセンテージになっているか、お尋ねしたいと思います。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員長。

○委員（佐藤 武君） お答えします。

まず、空き家バンクの予算ですが、これはトータル200万円、1件が20万円で10件を予定しているということで、200万円の予算を計上しているということです。

それから、空き家バンクの登録ですが、先ほど委員長報告の中でも申し上げました、現在登録が15軒程度ということで、桜が丘については具体的に質問があったのでそれに答えておりますけれども、全体的に赤磐市で何軒かというのは質問しておりませんが、おのずと空き家というのは全市の確認は委員会での質問はありません。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） ありがとうございます。

私分からないのは、前段のほうで、今回仏壇の処理も入ったということで、実際10件分、1件20万円上限で予算を組んでいますけど、これは実際行ったのは何件行ったと理解したらいいんですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員長。

○委員（佐藤 武君） これは、まだ具体的に実施した件数じゃなくて、これからやる予定の件数です。

○委員（原田素代君） 分かりました。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、総務分科会委員長報告に対する質疑は終わります。

正副委員長は自席にお戻りください。

続きまして、厚生文教分科会の委員長報告を行います。

正副委員長は移動してください。

それでは、委員長報告を求めます。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） それでは、予算審査特別委員会厚生文教分科会委員長報告を行います。

予算審査特別委員会厚生文教分科会に分担されました予算案1件について、厚生文教分科会を開催し、慎重に審査いたしました。その経過の主なものについて御報告いたします。

議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）のうち、厚生文教常任委員会所管部分について。

委員より、環境センターの焼却施設内修繕について、修繕箇所の写真の提示及び詳細説明を求める意見があり、執行部から、年次点検状況の写真を基に、焼却炉内の状況について説明を受けた。

委員より、点検は職員がしたのか、それとも業者がしたのかとの質疑に、執行部は、専門業者がしている、点検の報告内容を精査し、優先順位をつけて修繕を行っているとの答弁。

委員より、点検修繕等は施設の建設業者に委託しているのかとの質疑に、執行部は、運轉管理業者と契約しているとの答弁。

委員より、何年かごとにオーバーホールをしなくても、小規模な修理でもつのかとの質疑に、執行部は、通常、焼却施設は15年から20年で大規模な改修が入ってくる、施設を長寿命化させながら、また周辺地域の人の声を聞きながら適正に運営していくとの答弁。

委員より、戸籍住民基本台帳費のシステム保守等委託料について説明をとの質疑に、執行部はコンビニ交付、証明交付センターのシステム変更に伴う市のコンビニ交付システムの改修、戸籍法の一部改正に伴う戸籍情報システムの改修、デジタル手続法の公布に伴う戸籍・住基システムの改修の3件であるとの答弁。

委員より、戸籍・住基システムの改修内容について説明をとの質疑に、執行部は、戸籍の附票と住民票の住所を連携させるものであるとの答弁。

委員より、マイナンバーカードは三、四割しか普及していないが、システムだけにお金をかけて変えていこうとしているということかとの質疑に、執行部は、国の政策にのっとり行っていくとの答弁。

委員より、集落支援員について説明をとの質疑に、執行部は、地域おこし協力隊と似たところがあり、地域おこし協力隊は都市部からの人だが、集落支援員は地元から選出できる制度になっている、そのため地元をよく知っていて、地元を盛り上げていきたいという人を推薦してもらい、就任してほしいと考えている、また報償費を月20万円、活動経費の集落支援員補助金

12万9,000円、9か月分の予算を組んでいるとの答弁。

委員より、市でつくった制度なのかとの質疑に、執行部は、国の制度で、交付税対象の事業であるとの答弁。

委員より、仕事内容について説明をとの質疑に、執行部は、集落の巡回及び点検による現状把握と課題の分析、集落の在り方について話し合いをしてもらう場を設けること、地域の実情に応じた維持活性化するような事業をすること、コミュニティ団体と行政の連絡調整をすること、集落の課題解決に必要な活動をすることなどを国が決めているとの答弁。

委員より、それなりの資格、経験がないとできないと思うが、基準はあるのかとの質疑に、執行部は、支援員は地域活性化に意欲があり、地域住民関係団体と協力して積極的に活動できる者の中から選ぶつもりであるとの答弁。

委員より、いつから始める予定なのかとの質疑に、執行部は、7月から3月末までを考えているとの答弁。

委員より、低所得子育て世帯生活支援特別給付金と新生児子育て応援特別定額給付金の財源について説明をとの質疑に、執行部は、財源内訳は低所得子育て世帯生活支援特別給付金は国庫補助10分の10である、新生児子育て応援特別定額給付金は、給付金の2,850万円は全額補助だが、消耗品費等は一般財源であるとの答弁。

委員より、低所得子育て世帯生活支援特別給付金について、高校生だけの家庭には、はがきで通知をするなど丁寧な対応をしてほしいがどうかとの質疑に、執行部は、広報紙、ホームページで案内する、また県が高校単位で周知を行うとの答弁。

委員より、できるだけ漏れがなく給付金の受渡しができるようにしてほしい、何らかの方法が考えられると思うがどうかとの質疑に、執行部は、対象者への配慮も要ると思う、どういう周知方法がふさわしいか、意見の趣旨を理解して議論するとの答弁。

委員より、高校生ではない16歳から18歳の仕事をしている人も対象になるのかとの質疑に、執行部は、対象者は平成15年4月2日から令和4年2月28日までに出生した児童を養育する非課税世帯であり、仕事をしていても給付対象になるとの答弁。

委員より、新型コロナウイルスワクチン接種委託料について内容の説明を、またどこに委託するのかとの質疑に、執行部は、市民が安心してワクチン接種が受けられるように、アナフィラキシーショック等の急を要する重篤な副反応が発生した場合の受入れ体制を確保するための経費である、また赤磐医師会病院に委託したいと思っているとの答弁。

委員より、教育総務費の非構造部材耐震補強工事について、工事はいつ頃までかかるのかとの質疑に、執行部は、平成27年度から事業を開始しており、令和4年度に事業完了予定である、国の交付金で事業をしており、財源を有効に活用したいと思っているため、状況によっては延長になる可能性もあるとの答弁。

委員より、地域運動部活動推進事業について説明をとの質疑に、執行部は、県内で3市町が

国の指定を受けており、赤磐市は休日の部活動の段階的な地域移行について指定を受けている、働き方改革を踏まえた部活動改革として、休日の部活動の段階的な地域移行に向け、地域人材を確保し、どのように部活動を地域と一緒にやっていくのか、生徒への適切な指導に必要な地域人材をどのように研修し、質を上げていくのか、休日と平日の一貫指導のための体制づくり、地域部活動の運営団体の確保等の研究を行っていくものであるとの答弁。

委員より、新規事業なのかとの質疑に、執行部は、新規事業であるとの答弁。

他に質疑はなく、審査を終了しました。

以上をもちまして予算審査特別委員会厚生文教分科会委員長報告を終わります。

○委員長（大森進次君） 厚生文教分科会委員長報告が終わりました。

これから厚生文教分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 1点だけ教えてください。

最後のほうに出てます地域運動部活動推進事業について委員長報告があったんですけど、これは非常に重要な課題かなというふうに今思ったんですけども、この推進事業についてどの程度といいますか、目標はいつ頃までにするのか議論がありましたでしょうか、あったらお答えください。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） その点については、議論はしておりませんでした。

以上です。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（大森進次君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 今のに関連してなんですけど、これは磐梨中学校とありますけど、いろんな部活をされています。具体的にどの部とかというのは想定されてるんでしょうか。

それと、指導員の候補者はある程度想定はされてるんでしょうか。

それともう1点、その前の集落支援員なんですけど、これは報償費月20万円ということなんですけど、何人ぐらいを想定されてる、あるいは赤磐市内全域を想定されてるのか、町内会とか区とかいろんな役員さんがおられるんですけど、民生委員さんとか、それと何かダブるといってか屋上屋重なるような形にも見えるんですけど、どのあたりまで想定されてるんでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） 地域運動部活動推進事業については、磐梨中学校という話がありましたが、磐梨中学校は本会議の中で出た話で、分科会の中では話は出ておりませんので、そういった突っ込んだ話はしておりません。どの部活動に対して行うかっていうのも、話は出てはおりませんでした。

続いて、集落支援員補助金についてですが、これは赤磐市としては1人を想定してまして、中で出た話は、モデル地区として仁堀地域を考えているとの答弁はございました。

以上です。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はございませんか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 焼却センターの点検修繕は施設の建設業者に委託しているかとの質疑に、執行部は運転管理業者と契約しているということですが、これは随意契約でやったのか、それとも入札でやったのか、その辺は協議がありましたか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） 業者の点検についてでございますが、これは随意契約、入札という話はしておりませんでした。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） ですから、ここで建設業者に委託しているのかとの質疑ですから、建設した業者か今の運転管理業者なんじゃけど、2者話があるわけですね、当然。というのに、片一方の運転管理業者と随意をやったのか、入札でそうなったのかという話はなかったんですかというのをお聞きしとんです。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） その話は出てはおりません。

以上です。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、厚生文教分科会委員長報告に対する質疑を終わります。

正副委員長は自席へお戻りください。

続きまして、産業建設分科会の委員長報告を行います。

正副委員長は移動してください。

それでは、委員長報告を求めます。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 金谷委員長。

○委員（金谷文則君） それでは、予算審査特別委員会産業建設分科会の委員長報告を行います。

予算審査特別委員会産業建設分科会に分担されました予算案1件について、産業建設分科会を開催し、慎重に審査をいたしました。その経過の主なものについて御報告をいたします。

議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）のうち、産業建設常任委員会所管部分について。

委員より、農業振興費の農作物振興検討業務委託料330万円について、具体的にどのようなものをこの予算の中で考えているのかを詳細説明をという質疑に、執行部は、市の特産品である果樹等の既存農家が規模を拡大する場合、また新規就農する場合も、まず必要となるのは土地である、農地であっても水はけの悪い場合や、広くても実際には使えない場合の面的なところの整備をしていきたいと考えているとの答弁。

委員より、水田ではなく、果物が中心で計画されていると理解してよいかとの質疑に、執行部は、田畑に限らず、土地の地目は関係なく、果物を中心としたものになるとの答弁。

委員より、日本貿易振興機構負担金10万円と和気地区雇用開発協会負担金15万円について、この2つの組織はどのようなことをやっている機関なのか説明をとの質疑に、執行部は、日本貿易振興機構、通称ジェトロは市内企業の海外輸出や海外進出について協力をしてもらっており、海外輸出や進出について市内企業から相談があった場合はジェトロにつないでいる、このコロナ禍により、海外のECサイト（電子商取引サイト）へ事業者をつなぐような事業も行っている、また市ではセミナー等にも参加している、和気地区雇用開発協会は、赤磐市、備前市、和気町、和気公共職業安定所が共同で、就職支援を行う目的で、備前商工会議所が事務局となり、新規学卒者や中途採用対象の企業説明会などを行っている機関であるとの答弁。

委員より、農地費の測量設計委託料について、圃場整備の対象地区はどこかという質疑に、執行部は、対象地区は下仁保地区で、圃場整備の基礎調査を行う委託料であるとの答弁。

委員より、都市計画総務費の報償費53万4,000円について、誰にどういう形でお礼をするのか、また事業計画策定委託料500万円と調査委託料700万円は関連したものなのかとの質疑に、執行部は、報償費は空家等対策検討協議会の委員に対する謝礼である、調査委託料は赤磐市空家等対策計画を改訂するに当たり、空き家の実態調査をする経費である、事業計画書作成委託料は立地適正化計画策定等検討協議会を進めていく中で、調査が必要となった場合や資料等の作成が必要となった場合の資料作成支援業務を予定しているとの答弁。

委員より、委員会の中でも調査研究、いろいろなことが進んでいない中で、作業だけがこの

ように早く進行しているということに対して、また議会に対して問題提起を作るだけの様な形になるのではないかと、計画のないものに予算をつけるということはできないと思うがどうかとの質疑に、執行部は、立地適正化計画策定等検討協議会を開催していく中で、委員から調査や資料作成の意見等が出た場合に対する予算として計上しているとの答弁。

委員より、予算づけというのは、こういうことが起きたからこのことについて予算をつけさせてくださいという考え方でやっていたら駄目ではないか、よく考えて執行してほしいとの意見があった。

他に質疑はなく、審査を終了いたしました。

以上をもちまして予算審査特別委員会産業建設分科会委員長報告を終わります。

○委員長（大森進次君） 産業建設分科会委員長報告が終わりました。

これから産業建設分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） ありがとうございます。

5ページの下段の部分がよく分からないんですね。要するに、事業計画策定委託料と調査委託料の500万円と700万円が、どういう事業になるのかという事業説明がないままで、予算だけが先走っているという御意見もあったように思いますけど、これについてはもうちょっと議論はほかになかったのでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 金谷委員長。

○委員（金谷文則君） 原田委員からの質問に対してお答えをしたいと思います。

まず、ここで一番問題になったというのは、きちんと事業計画、それぞれの中でこういうものがあるからこれに予算をつけてくださいということがしっかり出ていないのに、予算を要求するというのはおかしいという意見で終始いたしました。それ以外、細かい中のことについての討議はなく、おかしいではないかということが強く委員のほうから指摘がありました。

以上でございます。

○委員（原田素代君） 分かりました。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 日本貿易振興機構負担金10万円、和気地区雇用開発協会負担金15万円というふうに出てるんですけども、いろんな海外への輸出の相談業務に当たって、協力金が

など思ったんですが、この10万円と15万円の積算根拠といいますか、どういう形でこの金額が計上されているのか、慣例的にずっとこの金額でいっているのか、そこら辺で協議がなされたのか、あればお答えください。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 金谷委員長。

○委員（金谷文則君） 佐藤委員の質問にお答えをします。

それについての議論はございませんでした。

以上です。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑は。

下山委員。

○委員（下山哲司君） 都市計画総務費なんですけど、事業策定委託料500万円、調査委託料700万円、これは何かというたら空き家実態調査をする経費と、その名目と金額というたら重さが違うように感じるんですが、内容的にこの調査費が、この700万円、500万円に値するような内容なんですか。その辺は話はなかったんですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 金谷委員長。

○委員（金谷文則君） 下山委員が質問されたことについてですが、委員会の中で、そのことについて詳しい内訳等が必要であろうと、そういう内訳に対しての予算をつけるのが当たり前であろうという意見が強く出されまして、その中に解明をするというところまでは至ってるわけではございませんが、予算を出す場合にはその根拠をしっかり出してほしいということと、それから一応きちんとしたものに対して予算をつけるのが当たり前であろうという意見が強く出されたということでございます。それ以外のことはございません。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 内容については今後出てくるんですか、出てこない、このままで終わりなんですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 金谷委員長。

○委員（金谷文則君） そのことについての議論はしておりません。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、産業建設分科会委員長報告に対する質疑を終わります。
正副委員長は自席へお戻りください。

これで議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）の質疑を終了いたします。

それでは、ただいまから本委員会に付託されました議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）について採決したいと思います。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） その採決の前に意見を言うのもいいですかね。討論は本会議でやるんですが、ここは採決か。

○副委員長（佐々木雄司君） 採決に入ります。

○委員長（大森進次君） 採決したいと思います。

議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 起立多数です。したがって、議第33号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で当委員会に付託されました案件の審査は全て終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） それでは、そのようにさせていただきます。

以上をもちまして予算審査特別委員会を閉会といたします。

閉会に当たりまして、前田副市長より御挨拶をお願いいたします。

○副市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 前田副市長。

○副市長（前田正之君） 委員の皆様には、大変御多用な中、本日予算審査特別委員会をお開きいただきまして、予定の議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）の御審査を慎重にいただきまして、ありがとうございました。残すところ最終日ということになりますが、最終まで御審議を慎重にお願いいたします。本日はありがとうございました。

○委員長（大森進次君） ありがとうございました。

これで予算審査特別委員会を閉会いたします。

皆さん、大変お疲れさまでした。

午前10時41分 閉会